

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年6月1日

事業所名 こくぶ学園

保護者等数(児童数)

回収数 24

割合 75%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	0	0	2		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2	0	6		職員の配置については重要事項説明書に記載させて頂いております。現在、配置基準を満たした配置であり、専門性を活かしながらスタッフの連携に努めます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	0	0	8		必要に応じて設備を改設している所です。お気づきの点がございましたらお申し出下さい。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	24	0	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21	1	0	2		一月の中で、運動・制作・レクリエーション等を組んだプログラムを作成しています。お便り、連絡帳などでお知らせさせて頂きます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	3	0	15		
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	1	0	0		利用契約時に重要事項説明書等で丁寧に説明ができるよう努めます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	1	0	0	いつも送り時にその日の様子を伝えていただき嬉しく思っています。	連絡帳や送迎、個人懇談等でしっかりお伝えしていきたいと思えます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2	0	0		個人懇談懇談を行っていますので、活用していただければと思います。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	6	2	10		今年度は、ペアレントトレーニングをさせて頂きました。皆様のご要望を伺いながら、来年度も内容を検討させて頂きますので、ぜひご参加ください。

保護者への説明等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1	0	8	体制については、利用契約時に重要事項説明書で丁寧に説明を行いたいと思います。苦情があった場合も同じく対応していくように努めます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	3	0	2	個人懇談や送迎時などを利用して伝達できるよう努めさせていただきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	2	0	2	連絡体制がもっと簡単やLINEやSNS等直接出来たら嬉しいです。 サービス評価については、ホームページで公開させて頂いております。活動の様子は写真を中心にお便りで年4回発行予定です。
	14	個人情報に十分注意しているか	19	1	0	4	個人情報については、十分注意をするよう努めています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	1	0	2	マニュアルは作成されていますが、保護者の皆様への周知に努めさせていただきますと思います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	2	0	1	避難訓練は、毎月1回行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	3	0	0	毎日とても楽しみにしていると思います。
	18	事業所の支援に満足しているか	22	2	0	0	気になる点やご要望があれば、お気軽にご相談ください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年6月1日

事業所名 こくぶ学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・動きが激しい児童の場合、危険を感じる場面がある。 ・交流棟を実習生が居室として利用している時は、個別指導、クールダウンや静養する為の部屋がない。	人権擁護の面からの配慮に気を付けながら、パーテーションなどを使い個人スペースの配慮をしていきたいと思います。また、安全面に配慮しながら環境の工夫をしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	・力を必要とする児童の場合、男性の負担が大きく、男性2名ではやや足りない。	配置基準は満たしています。チームで補いながら負担を軽減できるよう配慮したいと思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	・障害者トイレ、スロープ、手すり、段差のないフロア等の設備はあるが、W/Cで動くには狭く、注意が必要。	身障者用トイレの広さが、本人の手動で移動するには少々狭いですが、スタッフの介助により安全に移動させていただきま
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の皆様からのご意見を頂き、改善していくようスタッフ一同努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		事業所内で公開しています。結果については、ホームページも合わせてご覧ください。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	第三者評価があるのか不明。	現在、第三者による外部評価は出来ていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		使用していますが、ツールの内容確認を職員が共通理解できるよう確認していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	スタッフ全員で活動プログラムを決めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・各曜日で偏りがいないかバランスを見て活動設定している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・送迎時間帯の個別活動は担当者以外の職員でもできるよう共通理解をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・勤務体制によって、時間をみつけ内容や役割を聞くようにしている。 ・朝礼で実施。 ・その日の担当者が決められ、その担当を中心に活動を行っている。	長期休暇中など時間とりにくい時には連絡ノートを利用しているが、共通理解ができるよう徹底していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	1	・朝礼時に情報交換をしているが、活動についての振り返りが出来ていないことが多い。	朝礼などを使い、活動の振り返りを通して支援が充実していくよう努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・利用日の個別の記録をとっている。その日の学校からの引継ぎも記録している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0		ガイドラインを確認しながら支援ができるように努めています。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・児発管、担当スタッフが参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	・保護者を通じて行っている。 ・学校から直接行事予定等の情報提供の流出になるため難しい。各家庭との確認を大切にしている。迎えの際に児童の様	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	2	・該当児童がいない。	今後、必要がある場合には、連携を取っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	・年度末、年度初めに療育との引継ぎ会をしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	0	・相談支援事業所を通じて行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・保護者会講師や子どもの活動にも参加して協力していただいている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	今年度は、放デイ、生活介護事業所利用の方たちとの交流会を行った。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	・キッズ・サポート・ワーキングに参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	個人懇談や送迎時、連絡帳などで伝えている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1		ペアレント・トレーニング等保護者のご意見を伺いながら検討していきたいとします。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		コロナ感染症予防対策の為、控えています。今後状況を見ながら検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・苦情等の対応は迅速にできているが、保護者等に周知できているかは不明。	重要事項説明書で丁寧に説明ができるよう努めて行きます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・年4回の発行予定。主に写真を用いて活動の様子を知らせている。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	・こくぶ学園タ涼み会。 ・地域ボランティアによる音楽会。 ・他の放デイや生活介護事業所利用の方たちとの交流会。	コロナ感染症予防対策が緩和され、状況を見ながら地域との交流を広げていきたいと思います。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	・保護者に周知しているか不明。	保護者の方への周知ができるよう努めて行きます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・入所児童と一緒に実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	・指示書はないが、保護者からの情報を基に対応している。 ・医師の指示書があるのか不明。	医師の指示所が無くて、保護者の方に確認をしながら、おやつや食事の提供をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	・ヒヤリハットは都度提出しているが、事例集があるのか不明。	・ヒヤリハットのファイルがあり、これまでの事例を綴っています。